



筑波大学

University of Tsukuba

筑波大学大学院 人間総合科学学術院 (博士前期課程)

体育学学位プログラム

ナショナルリーディングコーチ養成系列

“World Class Coaching with Open Communication and Global Mindset”



本系列の目指すところ

- ・スポーツ界をリードする国際的な人材の育成
競技種目で国をリードする監督・コーチとなり、将来的に統括組織(IF/NF)で指導的役職に就くことが期待される人材を養成します。
- ・キャリアアップを目指した大学院教育
大学などの教育機関において、国のコーチ教育を先導的に担っていく人材を養成します。

本系列で養成される能力や特質

- ・独創性のある卓越したコーチング能力
- ・コーチングに要求される高度なマネジメント能力
- ・日本文化の理解を礎とした豊かな国際性

学位 修士(体育学)

本プログラムの修了により、「修士(体育学)」の学位が得られます。

入学試験

筑波大学大学院・人間総合科学学術院体育学学位プログラム
7月実施推薦入学試験(一般入学試験・社会人特別選抜)
10月実施(一般入学試験・社会人特別選抜)

入試日程

7月実施推薦入学試験(一般入学試験・社会人特別選抜)
2023年5月下旬 web出願受付開始
2023年7月6日 推薦入試
10月実施(一般入学試験・社会人特別選抜)
2023年9月上旬 出願
2023年10月 試験



募集要項および出願書類は下記サイトからダウンロードできます。

https://www.ap-graduate.tsukuba.ac.jp/course/chs/taigei_first/

(令和5年度版は2023年4月下旬に公開予定です)

*志望する指導教員にナショナルリーディングコーチ養成系列を履修希望であることを伝えること。

7月実施推薦（社会人特別選抜）要件

*7月実施推薦（社会人特別選抜）以外の入試内容に関しては、募集要項を確認すること。

下記のいずれかに該当し、出願者の実力や能力を熟知する2名の推薦者から推薦状が得られ、合格した場合には入学することを確約できること。

①プロなどの社会人競技で顕著な競技歴を有する者※1

※1 在学時にこれに該当する競技成績を取った者も含む。ユニバーシアードなど学生のみが参加する競技の実績は該当しない。フル代表および各年齢段階の代表も指す。

②スポーツに関する顕著な指導実績を有する者※2

※2 国のフル代表または各年齢段階の代表における監督やコーチの経験がある者、JOC ナショナルコーチアカデミーを修了した者（本年度中の修了見込みも含む）、別表に定める中央競技団体公認のトップレベル指導者資格を有する者、または、これらの資格と同等とみなせる海外のトップレベル指導者資格を有する者。外国の資格に関しては推薦要件に当たるか否かを必ず事前に問い合わせること。

別表	
サッカー	日本サッカー協会 S 級コーチ
ラグビー	日本ラグビーフットボール協会公認トップチームコーチ
テニス	日本テニス協会公認 S 級エリートコーチ



7月実施推薦（社会人特別選抜）試験内容

試験は、書類審査（150点）と面接による口述試験（50点）を行います。

指導教員

本プログラムでは、体操競技、陸上競技、競泳、アーティスティックスイミング、スケート、水球、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール、テニス、バドミントン、野球、卓球、柔道、剣道、弓道、の各種目において、高度な競技経験と優れた研究指導力を兼ね備えた教員が指導教員を務めます。

オリンピックの教員



河合季信

ショートトラックスピードスケート

‘92 アルベールビル冬季大会
男子 500m リレー（銅メダル）



谷川 聡

110m ハードル

‘00 シドニー大会
‘04 アテネ大会



本間三和子

アーティスティックスイミング

‘84 ロサンゼルス大会
ソロ（銅メダル）
デュエット（銅メダル）



岡田弘隆

柔道

‘88 ソウル大会 78kg 級
‘92 バルセロナ大会 86kg 級（銅メダル）



山口 香

柔道

‘88 ソウル大会
52kg 級（銅メダル）



平岡拓晃

柔道

‘08 北京大会 60 kg 級
‘12 ロンドン大会 60 kg 級（銀メダル）

【推薦】JOC National Coach Academy

日本がオリンピックで金メダル獲得世界トップクラスという大きな目標を果たすには、選手を支え、導く優秀な指導者の育成が急務であります。国際競技力を備え、更なる学びで優れた指導者養成を目指す文部科学省の「スポーツキャリア大学院プログラム」はこれから大きな役割を担うものになるでしょう。「Top of the Top」の指導者養成が、大学においてより進化することとともに、コーチの皆様がチャレンジされることを期待しています。

在校生・修了生の声



かけがえのない選手経験を価値あるものとして発信できる『知』を学ぶことができました。実践英語、トレーニング論、身体表現論、オリンピック論、日本文化、情報戦略などコーチング実践に役立つ様々なことを深く学ぶことができます。今後はここで学んだことを指導に活かし、バスケットにおけるコーチングを探究していきたいと思います。

大神雄子 (バスケット・3on3 日本代表女子アソシエイトコーチ)

サッカーに関する専門知識をはじめ、研究手法についても学び、とても充実しています。修了後は台湾サッカーに貢献し、台湾サッカーの競技力を日本に負けないレベルまで向上させたいです。

LIN CHE YU (サッカー・台湾代表)



柔軟な授業形態が整っていて、現在、選手活動と並行して勉学に励むことができている。このプログラムで学んだたくさんの知識や考え方を自身の経験則と折り混ぜ、今後コーチとしてトップアスリートを育てていきたいと思っています。

高橋侑希 (レスリング・日本代表)

2017年世界選手権 57kg級優勝



体育・スポーツにおける様々な分野のトップレベルの先生方からご指導いただき、自分自身の視野がとても広がりました。指導においては、科学的知見やそれに基づく論理性をより意識するようになりました。筑波大学で学んだことを活かしながら、現在もコーチングに励んでいます。

川合(糸山)真与

(アーティスティックスイミング・2019 ジュニア日本代表コーチ)

ロンドン五輪チーム 5位 (選手として)

